

COMTEC PORTBASE(コムテックポートベース) 施設のご案内

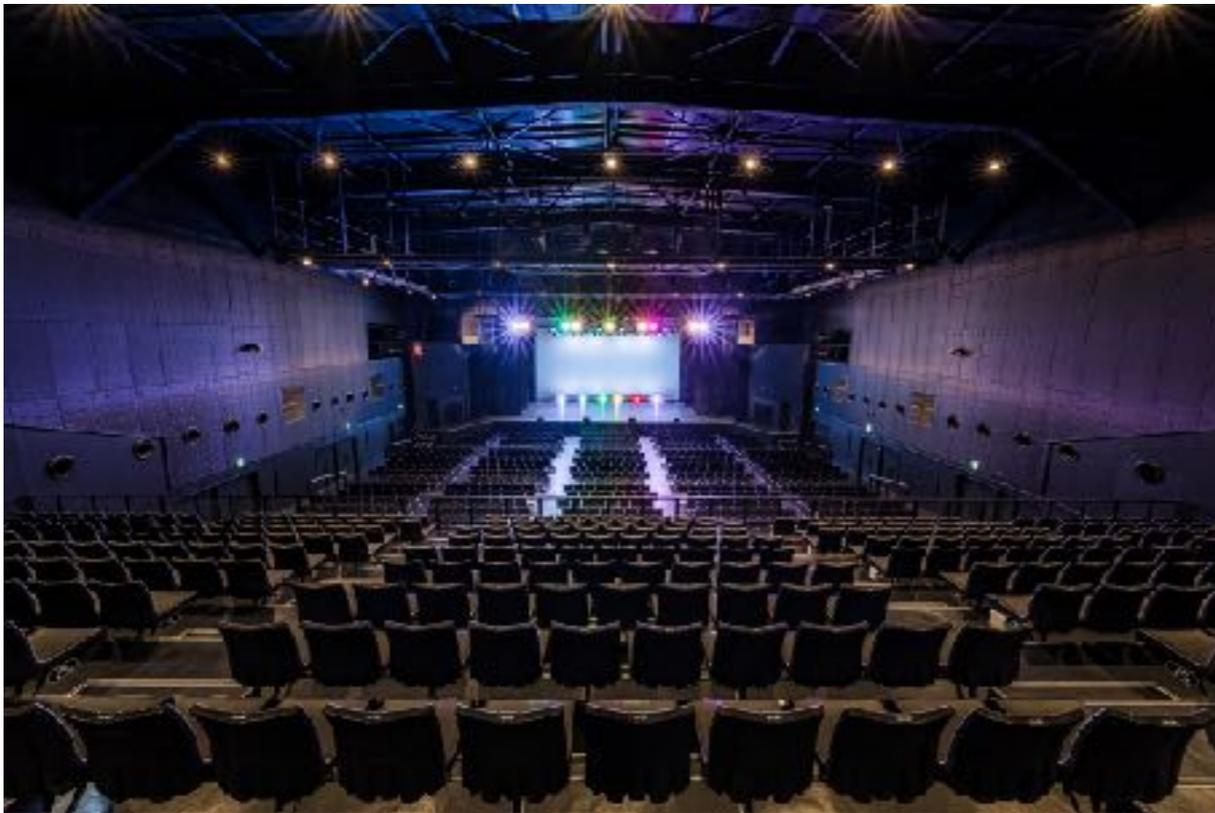


COMTEC
PORTBASE

2025.05.27

ライブハウスと劇場のハイブリッドホール「COMTEC PORTBASE」

COMTEC PORTBASEはシンプルな造りの構造の中に最新かつ高スペックな音響・照明機器を常設した、ライブハウスとホールのハイブリット。新しいスペックの多目的ホールです。



▶会場内のつくり

客席フロアは、スタンディングでの鑑賞においても視認性を確保できるよう、**15cmずつ三段階に高さを調整した構造**となっております。また、1階フロアにてご使用いただくスタッキングチェアは、既製品よりもクッションを増量した仕様とすることで、**長時間にわたる公演でも快適にご着席**いただけるよう配慮しております。

舞台のプロセニウム開口幅は、本地区における**多目的ホールとして最大級の有効寸法を確保**しており、大型舞台美術やワイドスパンの舞台装置の設営にも対応可能な構造となっております。

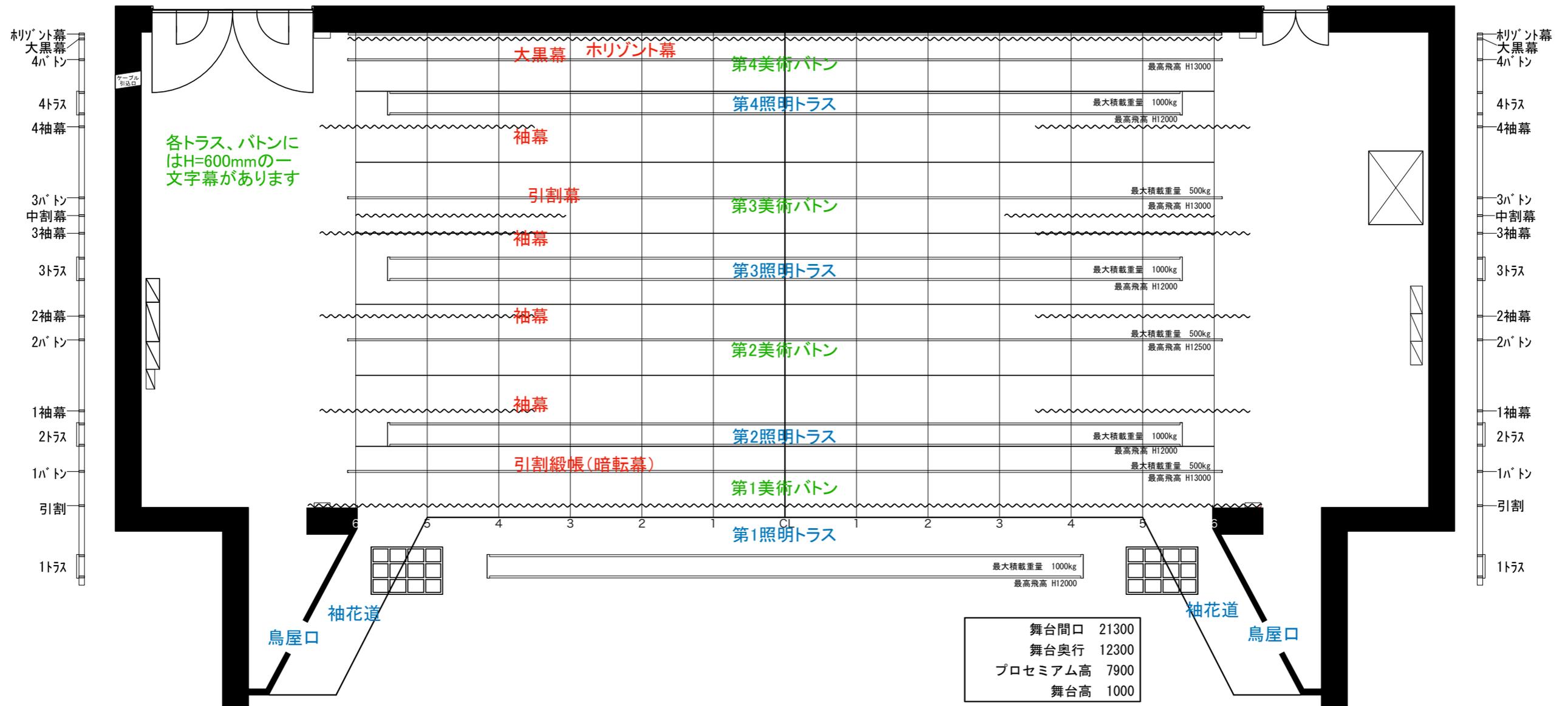
さらに、ライブハウス施設としては希少な構成要素である**袖花道（ウィングランウェイ）**を設置しており、演者の動線拡張および客席とのインタラクティブな演出を実現可能とする舞台空間を提供しています。

座席設置時における満席状態での**ホール内残響時間（中心周波数500 Hz）は約0.8秒、スタンディングレイアウト時には約0.7秒に調整**されています。本施設の室内音響設計は、電気音響拡声（PA）システムの運用を前提とした吸音・反射特性の最適化を図っております。

COMTEC PORTBASE 舞台機構

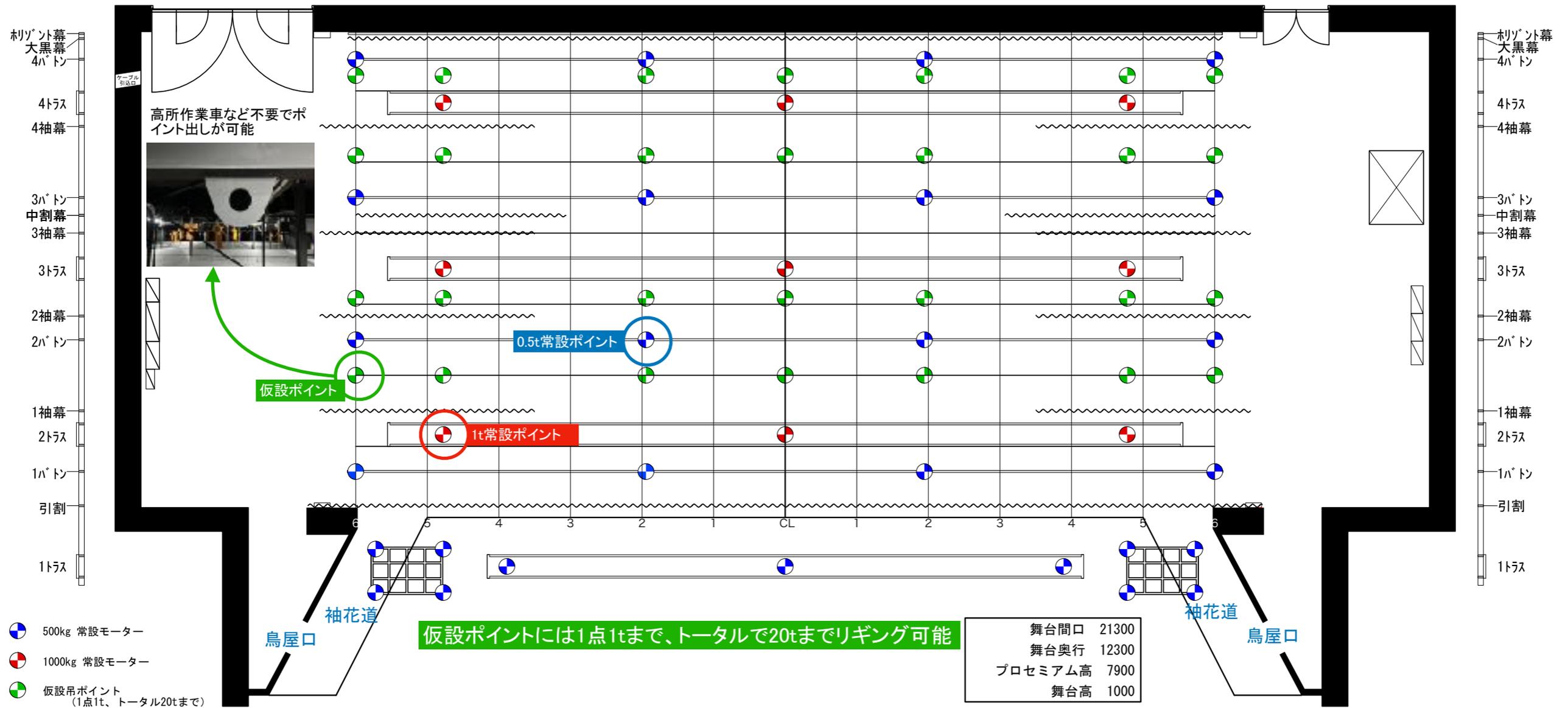
舞台機構について①（舞台幕と常設吊りもの機構）

COMTEC PORTBASEの舞台機構もシンプルな造りながら、必要な機構を常設し、かつ不足している機構は仮設をしやすい構造になっています。袖幕を使用し最小で13.5mから21.3mの有効舞台間口。



舞台機構について②（仮設吊りポイントと常設吊りポイントの位置）

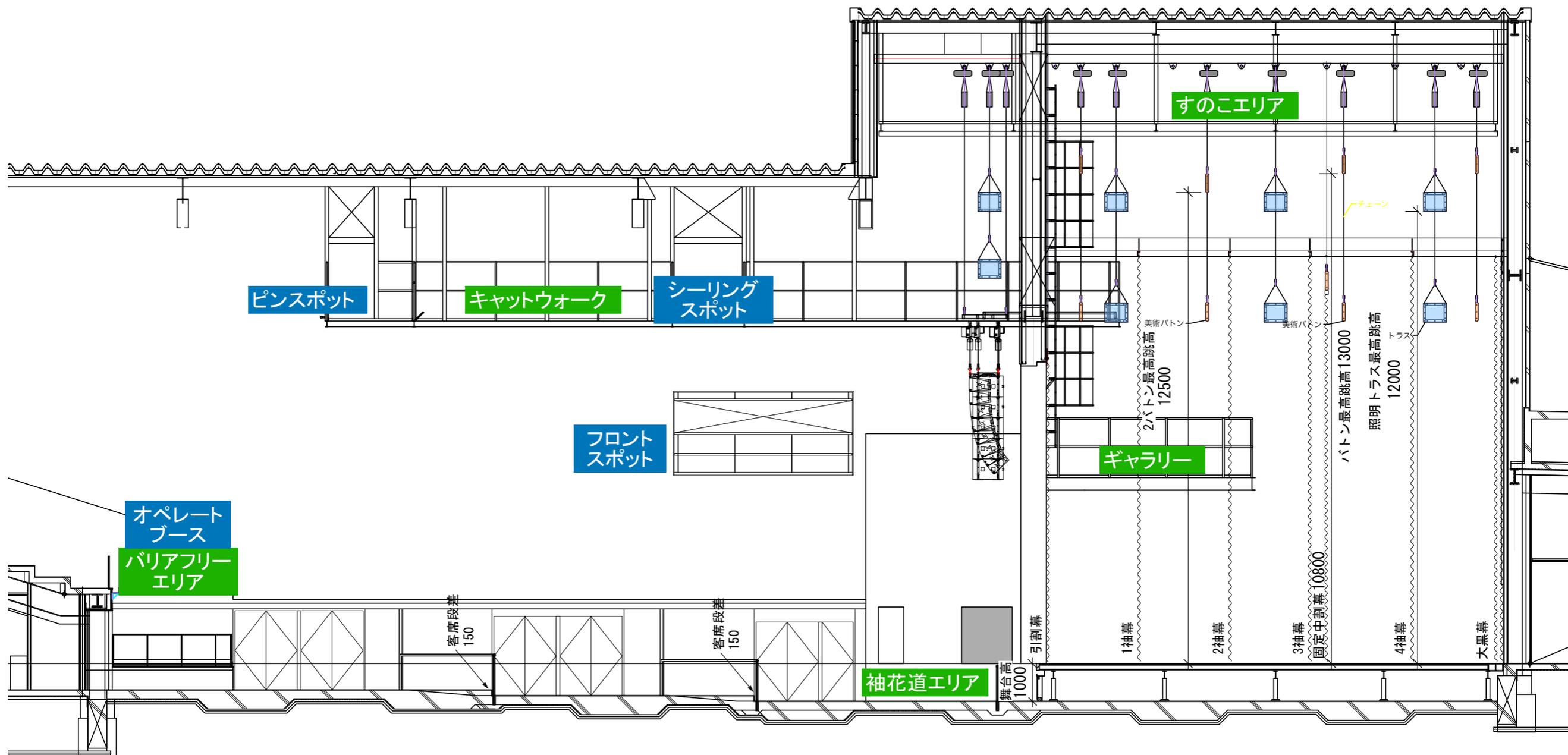
COMTEC PORTBASEの吊りもの構造はアリーナでの公演を考えていただければいたってシンプルです。数の少ない常設のバトンでは不足している場合はすでにある仮設吊りフックにモーターを追加すれば解決します。ポイント出しに高所作業車は必要ありません。



舞台機構について③（舞台高、すのこ高の詳細と機構の跳飛高位置）

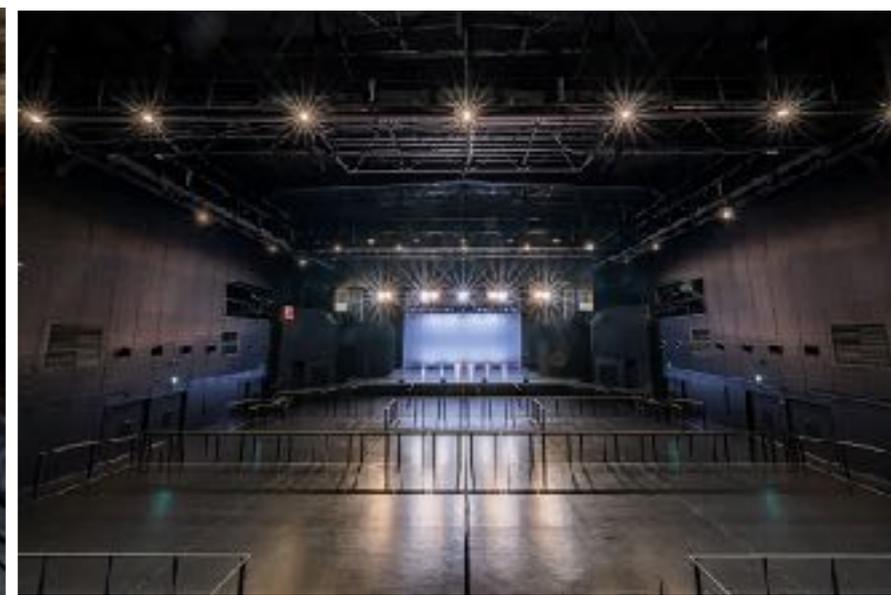
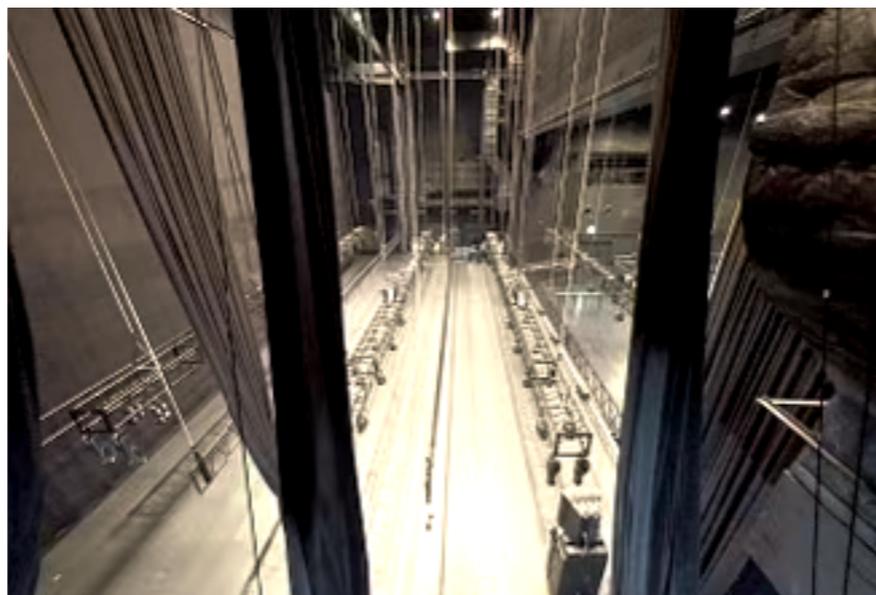
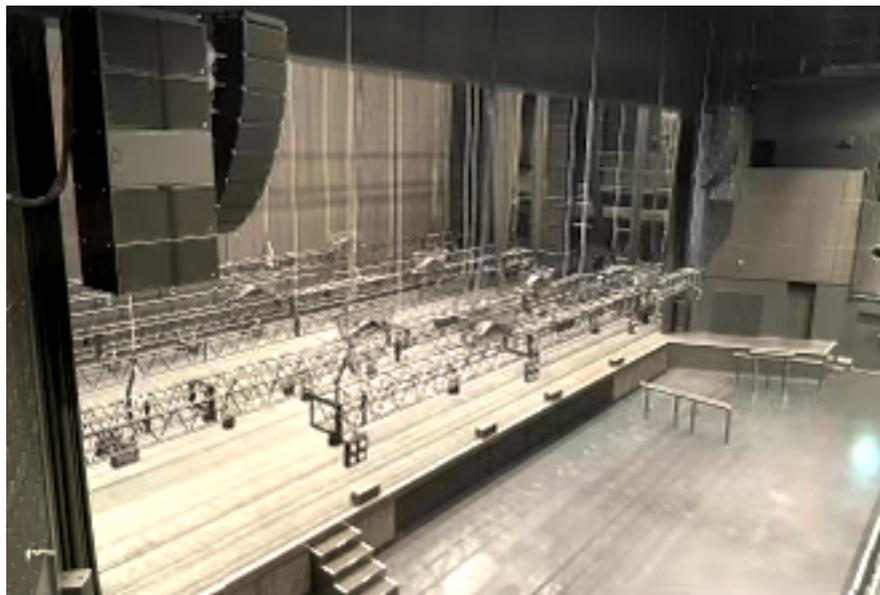
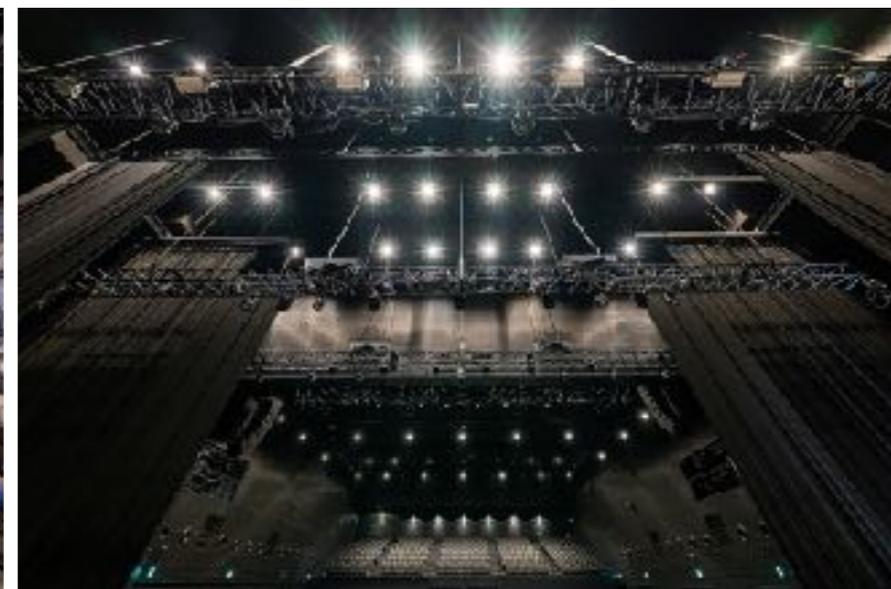
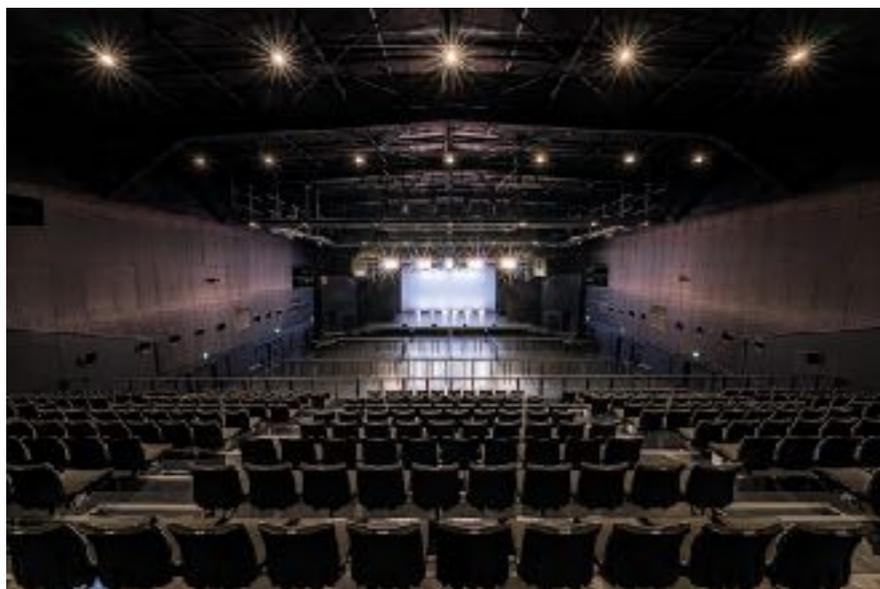
プロセミアム高は7.9mと一般の劇場と変わりません。立体的なステージセットも対応。

劇場では難しいLEDなどの重量物をリギングすることもできます（1点1tで合計20tまでリギング可能）



舞台画像

ホール内は可能な限り黒色を採用、演出の邪魔をしません。吸音材を多く利用することにより残響値を押さえ、ステージの世界観を表現
劇場では難しかった客席での飲食可能なフロアを実現しました。



COMTEC PORTBASE 演出照明について

近年発展を続けるデジタル照明機器に完全に対応した先進的なシステムを導入し、次世代機材の受け入れを前提とした構成。使用料が施設利用料に含まれた**常設機材のみでコンサートの開催が可能なラインナップ**。

▶COMTEC PORTBASE照明のシステム

COMTEC PORTBASEの照明システムは完全にLEDに特化したシステムを採用しています。近年のLED化の流れは舞台・ライブ空間での導入では、「発熱抑制」「メンテナンスコストの削減」「演出の多様性向上」が非常に大きなメリットです。以前は表現の部分でもハロゲンには劣っていましたが、近年のLED照明は高い調光性能や演色性（高CRI）を持ち、舞台照明や商業空間でも自然な色再現や演出が可能です。DMX制御などにも対応しており、演出の幅が広がります。

▶COMTEC PORTBASE導入製品の一部

コンソール

 AVOLITE (エボライト)



AVOLITE QUARTZ



Titan Mobile Wing

現在世界で使用されている2大コンソールメーカーの中からAVOLITEを選定。中でも乗り込みの業者が使用をするのに慣れている「QUARTZ」を設置し、当日の灯り作りでも対応できるようWingも設置してあります。「QUARTZ」本体はバックアップ機も用意、当日のオペレートに不安を残しません。

灯体


CHAUVET PROFESSIONAL (ショーベプロフェッショナル)

Maverick Force 2
BeamWash



14台

Color STRIKE M



14台

Ovation Rêve E-3



10台

STRIKE Array 4



8台

COLORado 2 Quad Zoom



70台

ピンスポットを含めたこれらの機材の全てが施設利用料に含まれています。（水性スモークマシンは有料で貸し出しをしています）

COMTEC PORTBASE 音響機器について

96kHzベースの高音質システム設計は国内のみならず世界標準となってきたサンプリングレート96kHzで統一された高音質システムです。ミキサー～アンプ～スピーカのメインストリームはデジタル信号にて直結。またアンプ架は両袖に振り分け、スピーカと最短で接続するにより、ケーブル長による電圧減衰を最小化。

▶COMTEC PORTBASE音響のシステム

絶対的な音質と操作性により数多くのオペレーターに支持されてきたDigico社のデジタルミキシングコンソールは著名な大型ライブハウスでも多数採用されている「定番」でもあり、セッティングデータだけを持ち回り活用できるのでツアーコンサートを誘致しやすい要因の一つともなり得ます。また、あえて入力信号のアナログ分岐を設けることで、放送局や録音業者の乗り込みや、世代の違う機材の持込みにも配慮します。

 DIGICO



[メインミキシングコンソール]
Quantum338

 YAMAHA



[モニターミキシングコンソール]
YAMAHA CL5

 CODA
CODA AUDIO

⊕ [スピーカーシステム] CODA AiRAY x12

CODA CiRAY x4

CODA SCP-F x10

CODA HOPS8 x4

CODA HOPS12-96 x11



 LAB.GRUPPEN lake



[サウンドプロセッサー] Lake LMX-88

 CODA
CODA AUDIO



[パワーアンプ] CODA LINUS14 x11

SNSでも好評なCOMTEC PORTBASEのサウンドオープン後2ヶ月が経ち、多くのアーティストのライブを開催しましたが、**その全てで会場のサウンドシステムを使用しています。**

もちろんこのサウンドシステムの使用料金も会館利用料に含まれています。

COMTEC
PORTBASE